

せんだい若手勉強会通信



○担当
宇梶(1年目)
二宮(1年目)
藤澤(2年目)

Vol.4 橋梁点検の現場見学に参加しました！

◆ 国道4号多田川橋の橋梁点検現場を見学！！【R4.10.5】

- 宮城県大崎市三本木地内に架かる多田川橋の橋梁点検現場に仙台河川国道事務所と宮城南部復興事務所の若手職員が合同で見学しました。
- 本見学会では、橋梁概要や耐震検討について点検業者より説明いただき、橋梁点検車による点検作業の見学や過去の点検結果を基に作成した例題を用い、実際に点検演習を行いました。
- 橋梁点検は、橋梁に係る維持管理を適切に行うために必要な情報を得ることを目的に実施されています。例えば、道路管理者や第三者への被害の回避、落橋等の長期にわたる機能不全の回避、長寿命化への時宜を得た対応などが挙げられます。

多田川橋全景



橋梁点検車による点検作業の視察



橋梁点検の演習
(主桁の目視点検)

◆ 実際に現場を見た若手の声



免震化工法で使用されたダンパー(赤丸)

橋の耐震補強では、経済性や施工性等に優れた免震化工法、落橋防止では、緩衝チェーンとアンカーバーを用いられ、地震災害に備えられていることがわかった。

季節風や凍結防止用の塩などによって塗装や鉄筋コンクリートの損傷に差が生まれることがわかった。なお、損傷した部分は適時補修・補強・交換される。



上り線側

下り線側

～ひとこと～

点検を定期的に行うことにより、橋梁の現在の状況を知り、損傷した部分の効果的な補修方法を導き出している事がわかった。今後の見学会では点検という視点も持って学習したいと考える。